

循環器内科

患者数実績	平成30年度	令和元年度	令和2年度
のべ入院患者数 年間	21,502	19,296	16,310
1日平均	59	53	45
外来患者数 年間	43,114	38,623	37,305
1日平均	180	161	153
循環器領域の検査			
経胸壁心エコー検査	4,433	5,271	4,973
経食道心エコー検査	24	14	5
トレッドミル検査	18	17	21
安静時心筋血流シンチ	23	120	2
負荷心筋血流シンチ	44	64	23
ホルター心電図	921	944	746
心臓カテーテル検査	658	710	684
心臓CT	434	507	765
循環器領域の治療			
経皮的冠動脈インターベンション(PCI)	242	315	275
急性心筋梗塞	48	52	47
不安定狭心症	42	45	32
補助循環 IABP	29	13	13
補助循環 PCPS	8	2	1
ペースメーカー新規植え込み	72	57	45
ペースメーカー電池交換	18	13	17
ICD 新規植え込み	7	4	7
ICD 交換	2	0	3
CRT-D 新規植え込み	2	4	3
CRT-D 交換	1	1	5
CRT-P 新規植え込み	0	0	1
CRT-P 交換	0	0	0
血液透析部門			
年間患者総数	13,712	12,923	13,274
入院	4,780	5,280	4,606
外来	8,932	7,643	8,668
導入数	115	111	106
転入	292	309	296
転出	414	385	380
腹膜透析部門			
新規導入	8	4	3
CAPD 継続例	10	14	12

入院患者数および外来患者数は令和2年度、大きな減少を認めました。新型コロナ拡大によるところが大きいと考えられます。ACSは年間80~90件程度でかわりなし、ペースメーカーやICDなどデバイス治療の件数も横ばいでした。検査では心臓CTの件数が増加しています。

(文責/循環器内科 主任部長 高橋 亨)